

# 2022年度新潟薬科大学大学院 薬学研究科博士課程学生募集要項

## 教育研究上の目的

薬学研究科は、創薬、医療、保健衛生の分野における高度な研究能力を有し、信頼されるプロフェッショナルとして社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

## 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

### 1. 求める学生像

本研究科が求める学生像は、次のような資質と意欲を有する者である。

- ・将来、人々の健康・自立を支援する専門家として社会に貢献したいという強い志と情熱をもつ人
- ・国際的な研究活動に必要とされるコミュニケーション力の素質と豊かな人間性をもつ人
- ・薬学領域の最先端の知識を身に付けようとする強い学習意欲と科学的探求心をもつ人

### 2. 入学前に修得が望まれる知識・能力

- ・薬学を中心とした科学に関する専門知識及びそれらを応用する能力
- ・薬学における問題点を設定できる研究デザイン力
- ・専門知識を学び、情報を発信するために必要な語学力及びコミュニケーション能力

## 募集研究領域・分野

領域	分野
基礎薬学領域	医薬品化学、医薬品素材学、医薬品物性学、機能性核酸分子治療学
医療薬学領域	医薬品作用学、病態生化学、健康衛生科学
臨床薬学領域	臨床分析化学、臨床薬物動態学、臨床薬物治療学、臨床薬剤学

※ 上記の研究分野に含まれる研究室から志望研究室を選択して、入学願書に必ず記入してください。  
出願にあたっては、事前に指導を希望する教員の内諾を得てください。希望する指導教員が未定の方は、本学新津キャンパス事務部教務課にご相談ください。

## 入試日程

入試種別	出願資格認定書類 提出期限（該当者のみ）	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続期限
一般入試・第1期	2021年 6月23日（水）	2021年 7月30日（金）～ 8月18日（水）	2021年 9月2日（木）	2021年 9月13日（月）	2021年 9月30日（木）
一般入試・第2期	2022年 1月12日（水）	2022年 1月27日（木）～ 2月7日（月）	2022年 2月25日（金）	2022年 3月14日（月）	2022年 3月18日（金）

### [提出先及び入試に関する問い合わせ先]

本学新津キャンパス事務部教務課  
〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265 番地 1  
電話:0250-28-5371（土日祝日を除く9時～17時） E-mail:kyoumu@nupals.ac.jp

### 《個人情報取扱いについて》

- ・本学は、個人情報の保護に関する法律を遵守し、志願者の個人情報は、管理責任者のもとで適正に取り扱います。
- ・志願者の個人情報は、入試業務、入学手続業務及び選抜方法等の調査・研究、分析等業務並びに入学者については教務・学生支援関係業務のため、本学が共有し、利用します。

## 1 募集人員 3名

## 2 出願資格

入学を志願することのできる者は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 学校教育法第83条に規定する大学のうち、薬学(修業年限が6年であるものに限る)、医学、歯学又は獣医学を履修する課程を卒業した者及び2022年3月までに卒業見込みの者
- (2) 修士の学位を有する者又は2022年3月までに取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における18年の課程を修了した者及び2022年3月までに修了見込みの者
- (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和30年文部省告示第39号)
- (5) 本研究科において、個別の入学資格審査により、第1号に定める者と同等以上の学力があると認められた者で、2022年3月31日までに24歳に達するもの。その他本学大学院学則に規定する入学資格を有する者

### ※ 上記の「出願資格(3)～(5)」で出願する方へ

あらかじめ出願資格の確認・審査を行います。下記の「提出先及び入試に関する問い合わせ先」へ電話連絡し、本学の指示に従ってください。出願資格の確認・審査を受けずに出願することはできません。

出願資格の確認・審査について、5ページにその概要を掲載しましたので、確認の上、手続してください(確認・審査書類の提出期限を定めていますので、注意してください)。

## 3 出願手続

志願者は、下記の出願書類を取り揃え、上記出願期間内に直接提出(土日祝日を除く9時～17時)又は郵送してください。

出願書類等を郵送する場合は、簡易書留郵便とし、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書してください。

- (1) 出願書類等提出先 本学新津キャンパス事務部教務課
- (2) 入学検定料(22,000円)を次のいずれかの方法により納付してください。
  - ① 直接納付の場合: 本学新津キャンパスA棟2階事務部で証紙を購入のうえ、出願書類と共に提出してください。
  - ② 郵便為替による場合: ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で普通為替証書に換えて、出願書類と共に提出してください。
  - ③ 銀行振込による場合: 以下の口座に振り込んでください。振込手数料は、志願者負担となります。「振込金受領書」又は「ATM利用明細書」等の写しを出願書類と共に提出してください。原本は、領収書となりますので、大切に保管してください。  
第四北越銀行 本店 (普) No. 2696584 口座名: 新潟薬科大学薬学部
- (3) 出願書類等
  - ① 入学願書(本学所定の様式)
  - ② 写真票・受験票・検定料納付書(本学所定の様式)
  - ③ 最終出身学校の卒業・修了(見込)証明書
  - ④ 最終出身学校の学業成績証明書
  - ⑤ 卒業論文若しくは修士論文の要旨又は研究経過報告書(主たる研究の概要)の要旨  
(A4用紙、2,000字以内、様式任意。研究経過報告書(主たる研究の概要)は、研究歴を有する志願者のみ提出。)
  - ⑥ 志望理由書(A4用紙、様式任意)
  - ⑦ 卒業研究又は修士論文の指導教員の推薦書(A4用紙、様式任意、任意提出)
  - ⑧ 顔写真2枚(出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmのもので、正面向き、無帽、無背景のものとし、同一のものを2枚、裏面に氏名を記入し、入学願書及び写真票の所定欄に貼付すること)
  - ⑨ 入学検定料振込証明書類
  - ⑩ 【入学後も就業し続ける者のみ】所属機関による承諾書(本学所定の様式)
  - ⑪ 【「外国語(英語)」の免除希望者のみ】外国語(英語)試験免除願(本学所定の様式)、外部英語検定・資格の成績証明書の写し(平成30年度3月文部科学省発行「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」に記載のある外部英語検定・資格の成績証明書)  
※審査結果は、受験票返送時にお知らせします。
  - ⑫ 【「外国語(英語)」以外の科目の出題を英語で希望する者のみ】入学試験上の配慮願(本学所定の様式)
  - ⑬ 【外国籍の志願者のみ】在留カード若しくは外国人登録証明書又は旅券の写し  
※改姓等の理由により、出願時の氏名が各種証明書の記載氏名と異なる場合は、本人であることを証明する書類(戸籍抄本等)を添付すること。

#### 4 選抜方法等

入学者の選抜は、学力試験、口頭試験・プレゼンテーション、面接及び出願書類により行い、合格者は、それらの結果を総合して決定します。

- (1) 試験日 【1期】2021年9月2日(木)  
【2期】2022年2月25日(金)
- (2) 試験場 本学新津キャンパス
- (2) 試験内容 ①学力試験 英語  
英和辞典の使用は可。本学より貸出しを行いますので辞書の持ち込みは不可とします。  
②口頭試験・プレゼンテーション  
卒業論文、修士論文の要旨又は研究経過報告書の要旨の内容について。発表20分、質疑応答10分  
③面接  
※当日のスケジュール等の詳細については、受験票送付時に通知します。

#### 5 合格発表日時

- 【1期】2021年9月13日(月)13時  
【2期】2022年3月14日(月)13時

- ・合格者の受験番号を本学新津キャンパス正面玄関前に掲示により発表します。
- ・合格者へは、発表と同時に合格通知書を送付します。
- ・本学への電話による可否のお問い合わせには、一切応じられません。

#### 6 入学手続

合格者は、合格通知書と共に送付される「入学手続のご案内」の指示に従い、所定の入学手続期間内に次の納付金を本学指定銀行口座に振り込み、併せて所定の入学手続書類を本学に提出することにより入学手続を完了してください。

所定の入学手続書類は、合格通知書と共に送付する「入学手続のご案内」でお知らせします。

- (1) 入学手続期間 【1期】2021年9月13日(月)～9月30日(木)  
【2期】2022年3月14日(月)～3月18日(金)
- (2) 入学手続納付金 404,660円(入学金200,000円、前期授業料200,000円、委託経費4,660円)
- (3) 入学辞退について

2022年3月31日(木)16時(必着)までに入学辞退を申し出た場合は、入学金を除く学費及び委託経費を返還します。それ以外の場合については、委託経費のみ返還します。

入学を辞退する場合は、入学辞退届(合格通知書と同封)を郵送(簡易書留による速達)してください。

なお、上記申出期日までに郵送済みで入学辞退届の提出(本学受領)が不確実の場合は、必ず上記申出期日の16時(厳守)までに本学新津キャンパス事務部教務課にご連絡ください。当該連絡を受理したときに限り、返還対象とします。

#### 7 学費及び委託経費

- (1) 学費
  - ① 入学金 200,000円(入学時のみ。本学の卒業生及び大学院博士前期課程修了者については、免除します。)
  - ② 授業料 年額400,000円(前期:200,000円、後期:200,000円)
- (2) 委託経費 4,660円(学生教育研究災害傷害保険等保険料(4ヵ年分))

#### 8 長期履修制度

職業を有する等の事情により、標準修業年限(4年)を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する旨を申し出たときは、審査の上、長期履修学生として、その計画的な履修を認めることがあります。長期履修学生の修業年限は5年又は6年とし、その授業料の年額は、通常の学生の納める4年分の授業料1,600,000円を長期履修期間の年数で除した額となります。詳細は、本学新津キャンパス事務部教務課までお問い合わせください。

#### 9 入学後の奨学金制度について

本研究科の在学生に対して、「新潟薬科大学奨学生」及び「新潟薬科大学大学院薬学研究科夢きぼう奨学金」の奨学金制度を設置しています。各制度の詳細については、本学新津キャンパス事務部学生支援課奨学金担当(0250-28-5397)までお問い合わせください。

#### 10 障がい等のある志願者の事前相談について

疾病または身体に障がい等のある志願者で、受験上及び実習等を含む修学上の特別な配慮を希望する者は、出願の前に「提出先及び入試に関する問い合わせ先」へ相談してください。すべての要望には添えない場合もありますが、相談の内容によっては学内の設備改修等、本学の対応に時間を要することもあるため、出願の意思決定に関わらず、できる限り早い段階で相談してください。

## 11 その他

- (1) 提出書類並びに既納の入学検定料は、返還しません。
- (2) 提出書類に虚偽の記載があることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

## 出願資格の確認・審査について

前記「2 出願資格(3)～(5)」に該当する方については、本学へ電話連絡の上、次により出願資格の確認・審査を受けてから出願してください。出願資格の確認・審査を受けずに出願することはできませんので、注意してください。

### 1 提出書類等

出願資格(3)に該当する方は、①、③、④、⑧、⑨の書類を提出してください。

出願資格(4)又は(5)に該当する方は、①～⑨のうち、本学が指定する書類を提出してください。

- ① 出願資格確認書（本学所定の様式）
  - ② 出願資格認定審査調書（本学所定の様式）
  - ③ 最終出身学校の卒業（修了）証明書
  - ④ 最終出身学校の学業成績証明書
  - ⑤ 研究業績調書（本学所定の様式。著書、学術論文、学術報告、学術講演、研究報告及び特許等について記入してください。）
  - ⑥ 学術論文、講演の別刷等（⑤に記載した業績を表すもの）
  - ⑦ 研究経過報告書（主たる研究の概要）（研究歴を有する志願者のみ提出。大学等卒業後の大学、研究所等における業績・研究等について詳細に記入してください。A4用紙、2,000字以内、様式任意）
  - ⑧ 在留カード若しくは外国人登録証明書又は旅券の写し（外国籍の志願者のみ提出）
  - ⑨ 返信用封筒（封筒（長形3号）に申請者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、郵便切手360円分を貼ってください。）
- ※改姓等の理由により、出願時の氏名が各種証明書の記載氏名と異なる場合は、本人であることを証明する書類（戸籍抄本等）を添付すること。

### 2 提出方法

提出書類等は、下記の提出期限内に本学新津キャンパス事務部教務課まで直接提出（土日祝日を除く9時～17時）又は郵送してください。

郵送する場合は、簡易書留郵便とし、封筒の表に「大学院出願資格関係書類在中」と朱書してください。

### 3 提出期限

- 【1期】2021年6月23日（水）必着
- 【2期】2022年1月12日（水）必着

### 4 出願資格確認・審査結果の通知

出願資格確認・審査の結果は、出願期間開始前までに本人あて郵送により通知します。

出願資格を認定された申請者は、出願手続を行ってください。

なお、出願資格の確認・審査のために提出した書類で出願書類と重複するものについては、再提出の必要はありません。

### 5 提出先及び問い合わせ先

本学新津キャンパス事務部教務課

〒956-8603 新潟市秋葉区東島 265 番地 1

電話：0250-28-5371（土日祝日を除く9時～17時）

E-mail: kyoumu@nupals.ac.jp

○新潟薬科大学大学院薬学研究科博士課程課題研究一覧

一部変更になる場合があります

領域	分野	研究室	担当教員		課題研究の概要
			職名・学位	氏名	
基礎薬学領域	医薬品化学	薬化学	教授・薬学博士	杉原多公通	医薬品の合成に応用できる高効率的分分子変換反応及び新規ガス固定化反応の開発研究と新しい概念に基づいた医薬品の合成研究を行う。
	医薬品素材学	生薬学	教授・薬学博士	渋谷雅明 ※ 2	医薬品として期待される天然化合物の生合成に関する研究を行う。
	医薬品物性学	薬品物理化学	教授・博士(学術)	星名賢之助	光物理化学・量子化学計算に基づく新規化学反応の機構解明、および、広い意味での物理刺激による医薬品物性や生体反応への影響の評価、分析法への応用研究を行う。
	機能性核酸分子治療学	機能性核酸分子治療学(健康・自立総合研究機構)	教授・医学博士 准教授・博士(農学)	梨本正之秋 関峰	がんやCOVID-19などに対する、TRUE gene silencingを基盤とした核酸医薬の開発、および診断・予後予測マーカーとなる血漿短鎖RNAの探索を行う。
医療薬学領域	医薬品作用学	機能形態学	教授・博士(歯学) 准教授・博士(理学)	山下菊治男 岩田武	転写調節因子 ATF3 を介した遠赤外線腫瘍抑制機序、および肥満とその合併疾患の発症機序に関する研究を行う。
		薬効薬理学	教授・博士(薬学) 准教授・博士(薬学)	前田武彦一 川原浩	オピオイド鎮痛薬をはじめとする慢性疼痛治療薬の薬理作用機序を解析し、新規作用機序の探索、新規疼痛治療薬の探索、並びに副作用を回避する新しい疼痛治療法の確立に資する基礎研究を行う。
	病態生化学	生化学	教授・博士(薬学)	小室晃彦	抗ウイルス自然免疫に関わる分子の作用機構、ウイルスと宿主因子の相互作用の解明をめざし基礎研究を行う。
		微生物学	准教授・博士(薬学) 准教授・博士(理学)	福原正博男 山口利男	様々な環境条件下における各種細菌の生育検討ならびに薬剤耐性臨床分離菌株の遺伝子解析を行う。
健康衛生科学	衛生化学	教授・博士(薬学)	酒巻利行	がん細胞の増殖及び転移制御に関わる分子生物学的特性の解析を行う。	
臨床薬学領域	臨床分析化学	薬品分析化学	准教授・博士(医学)	中川沙織	医薬品及び生体成分の高感度微量分析法の開発とその臨床応用に関する研究を行う。
	臨床薬物動態学	生物薬剤学	教授・博士(薬学)	久保田隆廣	薬物感受性の個体差に起因する変異遺伝子を探索し、その表現型に及ぼす影響を解析する。ならびに臨床応用を目的に遺伝子差異を簡便かつ迅速に検出し得る試薬の開発を行う。
	臨床薬物治療学	臨床薬物治療学	教授・博士(薬学)	若林広行 ※ 1	骨代謝疾患の発症予防と治療における生体概日リズムに基づいた時間薬物治療に関する研究を行う。生活習慣病の骨代謝への影響に関する研究を行う。消化器癌の時間治療に関する研究を行う。
		病態生理学	教授・医学博士	青木定夫 ※ 2	遺伝子変異および特異抗原を用いた血液腫瘍の新たな診断法および高感度のMRD検出法の開発および特異的治療法の確立に関する研究を行う。
臨床薬剤学	臨床薬学 教育研究 センター	教授・博士(薬学) 教授・博士(医学) 教授・博士(薬学) 准教授・博士(薬学)	朝倉俊成 坂爪重明 継田雅美 齊藤幹央	糖尿病治療薬とデバイスの適正使用ならびに患者のQOL向上を目指した製剤開発と療養指導に関する研究を行う。 地域における耐性菌伝搬の要因を調査し感染対策と抗菌薬適正使用に関する研究を行う。	

「※1」印の教員は2022年3月定年退職予定、「※2」印の教員は2024年3月定年退職予定

○授業科目及び修了要件等

一部変更になる場合があります。

科目区分	授業科目の名称	単位数	修了要件	科目区分	授業科目の名称	単位数	修了要件		
基礎科学特別授業	基礎科学特別授業	3	必修		動物細胞工学特殊授業	1			
特別授業	領域授業 基礎薬学	医薬品化学特別授業	2	2単位以上選択必修 8単位以上選択必修	特別授業 応用生命科学領域特別授業	ケミカルバイオロジー特殊授業	1		
		医薬品素材学特別授業	2			植物分子細胞学特殊授業	1		
		医薬品物性学特別授業	2			環境工学特殊授業	1		
	領域授業 医療薬学	医薬品作用学特別授業	2			グリーンケミストリー特殊授業	1		
		病態生化学特別授業	2			応用微生物学特殊授業	1		
		健康衛生科学特別授業	2			食品分析学特殊授業	1		
	領域授業 臨床薬学	臨床分析化学特別授業	2			栄養生化学特殊授業	1		
		臨床薬物動態学特別授業	2			グリーンプロセス・食品工学特殊授業	1		
		臨床薬物治療学特別授業	2			食品安全学特殊授業	1		
		臨床薬剤学特別授業	2			食品酵素学特殊授業	1		
	薬剤師専門領域特別授業	がん薬物療法特別授業	2			総合科目	分子科学特殊授業	1	
		感染症制御特別授業	2				薬学特別演習	6	必修
		緩和薬物療法特別授業	2			薬学特別実験	18	必修	
		精神科薬物療法特別授業	2		在学中に取得しなければならない単位数の合計		35 単位以上		
		妊婦・授乳婦薬物療法特別授業	2		<p>【修了要件】本課程を修了するためには、4年以上在学して、選択必修科目の中から6単位以上、必修科目との合計35単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。ただし、優れた研究業績を上げた者の在学期間については、3年以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>【学位】博士(薬学)</p>				
		レギュラトリーサイエンス特別授業	2						
		予防薬学特別授業	2						
		循環器疾患治療特別授業	2						
		臨床医薬品副作用学特別授業	2						
災害薬学特別授業	2								